

第12 教育学部における国際交流

香川大学では、21世紀への留学生政策を見据えて、昭和60年4月「香川大学における留学生受入計画」を策定しました。平成6年には香川大学国際交流基金が設立され、外国人留学生の受け入れ及び受け入れ体制の整備が進められてきました。学部教育や大学院教育、さらには研究活動を進めていく際、常に「国際貢献」は重要事項の一つとして取り上げられています。現在、大学間協定校は56校、学部間協定校は26校になっています。

教育学部においても国際交流を積極的に展開してきました。教育学部が主管学部となっている協定校には、誠信女子大学*、クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学*、コロラド州立大学*、江西師範大学*、南ボヘミア大学*、ムルシア大学、セントピーターズバーグ大学、北京外国語大学、ガウハチ大学、インド工科大学グワハチ校、ノースイースタンヒル大学の11校があります。教育学部が主管している連携協力協定として地球ディベロプメントサイエンス国際コンソーシアムの発展に関する一般協定も締結しています。またそれ以外に学生派遣実績のあるチェンマイ大学もあり交流を深めています。（*学生派遣実績のある協定校）

誠信女子大学

（大韓民国：Sungshin Women's University：締結年月日 2001年3月14日：<http://www.sungshin.ac.kr/>）
担当教員：未定

大学の紹介及び交流の特徴

1936年設立。学生8,400人、大学院生250人、教職員29人（美術学部）。1979年に誠信女子大学校と改名し、1981年には総合大学に昇格しました。現在は造形大学院、情報産業大学院、教育学大学院、人材資源経営大学院の4大学院、人文学部、社会科学部、自然科学部、人間環境学部、師範学部、美術学部、音楽学部の7つの学部、11の研究所及び13の附属機関から組織されています。学部は女子のみですが、大学院は男女共学です。



卒業・修了制作展に参加

留学した学生の声：

僕は、誠信女子大学で1年間、西洋美術を専攻しました。授業は韓国語が主なので少し大変ですが、日本語ができる教授や英語の授業もあるので、美術専攻で留学した身としてはすごく勉強になりました。近いけど違う韓国という文化を、生活を通して肌で感じる事ができ、とても新鮮で面白いので、是非興味がある方は行ってみてください。（2011年度派遣留学学生）

教員からの声：

香川大学と誠信女子大学は教育学部と美術大学だけの交流でしたが、2011年4月から双方の全学部で交換留学が可能となりました。したがって教育学部のみなさんは誠信女子大学に所属する学部や授業を自分の学びたい内容に応じて自由に選ぶことができます。語学研修や韓国文化を学ぶのにも最適でしょう。誠信女子大学はソウルの中心部にある大学で生活の利便性も非常に高い環境にあります。是非この制度を利用して日韓の友情を深めてください。



ソウル市内キャンパス

クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学

(ニュージーランド：Christchurch Polytechnic Institute of Technology (CPIT)/

Te Wananga o Otautahi：締結年月日 2002年1月23日：www.cpit.ac.nz)

担当教員：ポール・バテン

大学の紹介及び交流の特徴

1906年開学。学生35,000人、大学院生1,200人、教職員2,000人、留学生1,500人。長期留学の場合は英語ではなく、専門のコースの授業を受けることができ、観光業務、障害児教育等140のコースがあります。質の高い4週間の英語夏期研修・ホームステイプログラム（毎年3月または8月～9月）を実施しています。平成12年度以降香大生や教職員約220人が訪問しました。平成23年12月1日に学術交流協定に基づく実施細則を締結し（平成23年12月1日施行）、ますます相互交流が活発になることが期待されます。



CPIT 校門

交流実績（平成22年度～27年度）

	平成22年度	平成23年度*	平成24年度*	平成25年度	平成26年度	平成27年度
英語短期研修	9人	0人	3人	6人	1人	2人
長期留学	2人	0人	1人	1人	1人	1人
教職員の派遣・訪問	2人	5人	0人	2人	2人	1人

*地震のため一時中止

留学した学生の声：

私が1年間留学したニュージーランドのCPITという学校は、興味があることに次々と挑戦し、自分の力を磨ける場所だと思います。私が、CPITで受講したコースは主に3種類です。まず、語学学校で3か月ほど英語を学び、IELTSというイギリスやニュージーランドで有名な英語の試験対策を行いました。次に、受講したコースはビジネスマネジメントコースです。私の専攻は教育なので、最初は専門用語の多い教科書を見て、勿論戸惑いも感じました。しかし、授業が終わった後に、勉強会を開き、クラスメイトと意見交換を重ねることで、今ではビジネスは興味深いと思えるようになりました。クラスメイトの中には、ニュージーランド人は勿論のこと、世界各国からの留学生がいた為、意見交換を通して互いの国の文化なども知ることができたように思います。また、最後に取ったCELTAというコースでは英語教育について学びました。このコースは、ニュージーランドの移民の方々に、英語を教えるというものでした。私以外のクラスメイトは全員、英語のネイティブスピーカーでした。さらに、最初は語学学校の学生としてCPITに入学した私が、今度は教える立場に立つのかと思うと緊張で最初は、移民の方々の前に立った時、声が震えました。しかし、時の経過とともに少しずつ自信を持てるようになり、英語を第二言語として学んだ私だからこそ、ネイティブスピーカーのクラスメイトよりも、学習者の気持ちを深く理解し、彼らが躓きやすい点を事前に予測できるという強みを持っていることにも気付くことができました。このコースを無事終了したこ



トラム



Maori Cultural Centre 訪問

とで、世界中で英語を教えられる資格を得たため、卒業後、世界へと飛び立つ鍵を得られたような気がして、嬉しく思います。大学時代という今だからこそ、自分の可能性を自ら制限せずに、様々なことに挑戦することの重要性に気付かされた1年でした。ニュージーランドで出会った友人や先生方とは今も連絡を取っています。留学をするには、勇気もお金も必要ですが、得られたことは一生の宝となると思います。



調印式

教員からの声：

クライストチャーチは高松とほぼ同じくらいの人口と大きさで、観光地としても有名です。CPITと協定を結んで15年目になります。お互いに信頼でき、とても活発的な協定になっていると思います。平成16年度には10人の香大生が一年間ISEL（国際英語学科）で勉強しました。同年の2月にはCPIT障害児専門家の先生を香川大学に招き、附属特別支援学校で開催された会議で講演してもらいました。8月と3月の短期研修では、学生が現地の小中高等学校の授業に行き、日本語の簡単な紹介、折り紙、漢字等をティームティーチング等で（英語で）教えました。

短期・長期留学それぞれ良いところがあります。海外留学を考えている学生に是非お勧めしたいところです。

コロラド州立大学

(アメリカ合衆国：Colorado State University：締結年月日 2002年10月8日：<http://welcome.colostate.edu/>)

担当教員：高木由美子

大学の紹介及び交流の特徴

1870年設立。学生26,500人、大学院生3,600人、教職員6,140人、留学生1,600人（2010-2011年実績）。1935年に州立となり、1957年に現在のコロラド州立大学に改名されました。コロラド州立大学は、コロラドの州都デンバーから北に約100km、雄大なロッキー山脈の麓にあります。街の治安もよく、人々もあたたかく親切です。キャンパスは街の中心に位置し、830エーカーの広大な敷地に100棟以上の近代的な建物が建ち並び、国際交流を目的としたイベントも学内外でしばしば催されています。

コロラド州立大学はアメリカ合衆国の主要な研究大学の一つです。これまでに4万4千人の学生が修士、博士、獣医の資格を獲得しました。香川大学とコロラド州立大学は研究交流を中心とした学術協定を結んでいます。毎年、様々な学部の研究者が行き来し、講演、講義等を行うと共に、共同研究を展開しています。



授業の合間の移動（左は図書館）



学生会館

教員からの声：

CSUでは、日本語を勉強する学生が年間200名ほどいます。日本人留学生や、日本からのシニアボランティアの方が、日本語の授業のTAとしてサポートしていて、授業は活気にあふれています。

平成 27 年は初めて香川大学から 2 名の長期留学生を CSU に派遣します。また、1 名の学生が香川大学に来ることになっています。異文化交流プログラムもそれぞれ 1 ヶ月間実施する予定です。山と自然がいっぱいの CSU にあなたも行ってみませんか？



学生会館から図書館を臨む

江西師範大学

(中華人民共和国：Jiangxi Normal University：締結年月日 2005 年 2 月 25 日：http://www.jxnu.edu.cn/)

担当教員：平 篤志

大学の紹介及び交流の特徴

1940 年設立。学生 20,000 人、教職員 1,700 人、大学院生 1,200 人。3 つのキャンパスがあり、26 学部、大学院 37 研究科をもち、卒業生の教員就業率は全省の大学の高位に位置しています。江西省南昌市と高松市とは友好都市交流関係にあり、南昌市は江西省の省都です。江西省の北部に位置し、中国最大の淡水湖・ポーヤン湖に臨む平原地帯にあります。市内には青山湖、艾溪湖などの大小の湖が点在し、市中心部にも東湖、西湖、南湖、北湖の 4 つの人工湖があつて、水辺に広がる緑と湖面に映る都市の様子が江南地方らしい美しい風景を作っています。江西省は、日本企業の誘致に積極的であり、人々も日本語や日本事情を学ぶ意欲が高いことが特徴です。本学部では、2006 年度以降留学生を受け入れており、教員や学生の相互交流がさらに深まることが期待されています。

来学した学生の声：

私は平成 20 年度の江西師範大学からの留学生です。高松はきれいで静かな町で生活がいいところだと思います。学校に通ったり、市立図書館で本を読んだり、暇なとき、海辺に行ったり、ショッピングしたりして留学生活を楽しみました。この静かな町とは反対に、人口が 500 万人もある南昌市は賑やかです。高松市の穏やかさと違って、南昌は「八一起義」という武装蜂起を経験して発展してきたのです。両都市の共通点は歴史があるという点です。玉藻公園のお城のような「騰王閣」(再建)は、1300 年ほど前に建てられた君主のお城です。この 10 年間、江西師範大学は発展して、江西省で人気のある大学になりました。留学にも遊学にもいいところだと思います。是非、南昌へ、江西師範大学へお越しください。



教員からの声：

2013 年 2 月に、「交流協定校への短期訪問援助事業」により、教育学部学生 4 名(院生を含む)とともに江西師範大学国際教育学院を訪問し、肖学院長をはじめとする学院のスタッフや学生諸君から大歓迎を受けました。交流は、附属小中学校での授業参観、大学での授業参観、市内見学など盛りだくさんの内容で、参加者それぞれにとってすばらしい体験となりました。江西師範大学からは、2014 年 9 月に第 10 陣の交換留学生 3 名が来日し、香川大学で勉学に励んでいます。



南ボヘミア大学

(チェコ共和国：The University of South Bohemia：締結年月日 2008年11月12日：<http://www.jcu.cz/>)

担当教員：村山 聡

大学の紹介及び交流の特徴

南ボヘミア大学（チェコ共和国チェスケー・ブデヨビツェ市）は、教育学部（1948年設立）および農学部（1960年設立）の2学部を基に1991年に設立された大学です。学生数は1万1000人、経済、人文科学、教育学、自然科学、神学、美術、農学など、170の分野で学士、修士、博士課程が設置されています。チェスケー・ブデヨビツェ（チェコ語：České Budějovice、ドイツ語：Böhmisch Budweis、英語：Budweis）は、ヴルタヴァ川とマルシェ川が合流する谷の中央に位置するチェコ南部の都市であり、南ボヘミア州最大の都市で、政治・商業の中心地です。

カトリック教会のチェスケー・ブジェヨヴィツェ大司教座が置かれています。南ボヘミアで進展しているグリーンツーリズムはヨーロッパ各地から多くの観光客を引きつけており、チェスケー・クルムロフなどの世界遺産との組み合わせにより、観光資源のさらなる開発の重要性が明確になってきました。EU圏における教育研究のグローバル化の実態とその変化について深く知ることは、アジアの中の日本の高等教育の将来を見据える上でも重要です。学術交流協定の締結により、双方の大学にとって、新たな教育研究の進展に多大な効果が期待されています。



調印式（学長室）



オタカル2世広場

ムルシア大学

(スペイン：University of Murcia：締結年月日 2010年12月9日：<http://www.um.es/english/>)

担当教員：高木由美子

大学の紹介及び交流の特徴

ムルシア大学は1915年に創設されたスペインで10番目に古い大学で、全学生数3万を超える伝統校です。教育学科、法学科、経済および経営学科、医学科、産業工学科のほかに、生物学科、化学科、獣医学科など14学科と、3つの附属施設があります。キャンパスは市中心部にあるLa Mercedキャンパスが最も古く、教育学科や化学科のあるEspinardoキャンパスはそこから北に5kmほど離れたところにあります。Espinardoキャンパスま



ムルシア大学総長室にて

での鉄道と医学科とその関連施設のキャンパスは現在造成中です。ムルシア大学ではスポーツも盛んであり、Espinardo キャンパスにフットボール、ラグビー競技場、体育館、テニス、スカッシュコート、屋内プールなど、多くの施設があります。

ムルシア大学のあるムルシア（自治）州はスペインの南東部、アンダルシア州、カスティーリャ・ラ・マンチャ州、バレンシア州に挟まれた所に位置し、地中海に面しています。州都ムルシア市は人口約 42 万人でスペイン第 7 位、衛星都市を含めたムルシア都市圏は 56 万人で、都市圏としてはスペイン第 12 位です。歴史も古く、ムルシア州 2 番目の規模の町であるカルタヘナの町は、カルタゴ人が海岸に貿易拠点を築き、ローマ人によって「カルタゴ・ノヴァ」と呼ばれるようになったことに由来しています。ここは、ローマ帝国時代、カルタゴの将軍ハンニバルが治めていた港町で、第 2 次ポエニ戦役の舞台でした。ムルシア州は地中海性気候で、温暖な冬、暑い夏が特徴です（年間平均気温は 18℃）。年間降水量は 300mm から 350mm とわずかで、年間の晴天日は 120 日から 150 日もあります。温暖な気候を生かしレモンなどの果実栽培や生花などの栽培が盛んです。ムルシア大学は、研究水準も非常に高く、日本の大学との交流を強く希望しており、国際交流協定および実施細則の締結により、活発な交流が展開できると期待されています。



旧市内中心部にある大聖堂



La Merced キャンパス中庭

セントピーターズバーグ大学

(アメリカ合衆国：St. Petersburg College：締結年月日 2011 年 2 月 28 日： <http://www.spcollege.edu/>)

担当教員：平 篤志

大学の紹介及び交流の特徴

セントピーターズバーグ大学（本部）は、高松市の姉妹都市であるアメリカ合衆国フロリダ州セントピーターズバーグ市に立地する州立大学です。1927 年に私立の短期大学として設立されましたが、1948 年に公立化されました。2001 年には、正式にフロリダ州で最初の 4 年制プログラムを擁するコミュニティカレッジとなり、アメリカ合衆国南部大学機構により、学士の学位を授与する認可を得ました。現在、セントピーターズバーグ大学は、セントピーターズバーグ市を中心とする地域に 8 つのキャンパスをもち、当該地域の代表的な高等教育機関となっています。高松市とセントピーターズバーグ市との間では、毎年高校生を相互に派遣するなど活発な交流が行われています。両市間のこれまでの交流を基礎に、両大学間で活発な交流が行われることが期待されています。



セントピーターズバーグ市のダウンタウン



クリアウォーターキャンパスにて



学生センター前での活動

北京外国語大学

(中華人民共和国：Beijing Foreign Studies University：2011年3月29日：<http://www.bfsu.edu.cn/>)

担当教員：村山 聡／池田恭哉

大学の紹介及び交流の特徴

北京外国語大学は、国家教育部直属の中国でもトップクラスの外国語大学です。その起源は 1941 年に遡り、北京大学と清華大学という名門校に囲まれた文教地区に位置しています。現在では外国語のみならず、文学・法学・経済学などを含めた 73 の学科を有し、伝統と実績に裏打ちされた、充実した幅広い教育を行っています。

特に外国語教育については、61 言語の専門課程を開設し、46 の国と地域から 142 名の外国籍教員が在籍、世界各地からの留学生も 1324 名を数えます。外国語教育に関する蔵書も中国国内有数であり、各種外国語教育のテキストや研究書も出版しています。国際交流にも積極的で、世界 87 の国と地域、451 箇所の研究機関と交流関係にあり、また 21 の孔子学院を国外に設置しています。

日本との関係では、1985 年に北京日本学研究中心を附設しています。日本語学・日本語教育学・日本文学・日本文化・日本社会・日本経済の 6 専攻の修士課程を設け、これまでに優秀な研究者を多数輩出しながら、日本との友好関係の発展に寄与しています。



教員からの声

北京外国語大学では、豊富な外国語教育実践に基づいた、実に多彩なプログラムが準備されています。その独自に編纂されたテキストは、初学者から上級者まで、どのレベルの中国語学習者をも満足させてくれます。また北京大学や清華大学とも距離が近いので、多くの国と地域からの留学生だけでなく、中国人学生ともたくさん交流できます。充実した教育の下で、皆さんもぜひ日本と中国の深い縁を体感してほしいです。



ガウハチ大学地理学科

(インド：Gauhati University：締結年月日 2015年8月3日：http://www.gauhati.ac.in/)

担当教員：寺尾 徹

大学の紹介及び交流の特徴

ガウハチ大学は、インド北東部諸州における初めての公立大学として、1948年に設立されました。「ガウハチ」の名前は、お茶でも有名な広大なブラマプトラ川流域を持つアッサム州の州都の地名から来ています。現在では域内に300を超えるカレッジを系列に持つ地域を代表する大学の一つです。地理学科は6つの学群のうちの、Arts学群に属しています。2007年度以降研究交流が始まり、2015年2月に香川大学水プロジェクトが主催をした国際シンポジウム「アジア・太平洋地域の水危機に立ち向かう」への参加等を経て、協定の締結に至りました。

地域の中核的な大学として香川大学との共通性を持つ総合大学で、気候変動や水環境に関する研究を協定でも重視することがうたわれています。地理学は地域の多様な特徴に切り込む学問であり、多くの研究分野と親和性があります。地域のカレッジへも多くの卒業生を輩出するなど、学校教育に関する教育活動も盛んです。世界的にも存在感を増すインドの大学との間の本学での初めての協定の締結となりました。海外への関心を高める学生の研修・留学先に新たにインドという選択肢が加わるだけでなく、インドの大学との研究交流やフィールド研究の展開も新たに期待されます。

平成28年度から具体的に学生の交流を開始するべく準備を進めています。



2015年8月に交流協定締結 Kar 学科長と

インド工科大学グワハチ校

(インド：Indian Institute of Technology Guwahati：締結年月日 2015年8月5日：http://www.iitg.ac.in/)

担当教員：寺尾 徹

大学の紹介及び交流の特徴

インド工科大学は、インドの工科系の最高学府の一つとして国際的評価も高い大学です。交流先であるインド工科大学グワハチ校は、インド工科大学(1951年設立)が現在16か所に持っている地域キャンパスのうちの一つとして、1994年に開校されました。既存の16校のうちでも比較的早い6番目のキャンパスです。工学系が中心ですが、数学・物理学等の基礎的自然科学学部、社会科学系の学部も備える総合性も持っています。

2007年度から気象学と水文学にかかわる研究上の交流を開始し、2015年2月に香川大学水プロジェクトが主催をした国際シンポジウム「アジア・太平洋地域の水危機に立ち向かう」への参加等を経て、協定の締結に至りました。

学生の自主的活動を支えるサークル棟や、全寮制大学として全学生をカバーする大きな学生寮など、学生交流で大いに活用できそうです。9月には学生の自主的な学術的祭典「Techniche」が開催され、夜の運動場で繰り広げられるロックダンスコンサートなど、エネルギッシュな学生の活動ぶりに特徴があります。

インドで最も優秀な学生と研究者の集まる最高学府の一つであるインド工科大学との教育研究交流をはかることにより、技術・理科・環境科学系のコース・領域や、自然生命科学系学部との高レベルの研究交流が期待できるのも、この交流先との交流の特徴といえるでしょう。

平成 28 年度から具体的に学生の交流を開始するべく準備を進めています。



学生寮食堂の夕食風景

ノースイースタンヒル大学地理学科

(インド：North-Eastern Hill University：締結年月日 2015 年 10 月 23 日：<http://www.nehu.ac.in/>)

担当教員：寺尾 徹

大学の紹介及び交流の特徴

ノースイースタンヒル大学は、インド国会の議決に基づいて、インド北東部メガラヤ州の州都シロンに 1973 年に設立されました。メガラヤ州は、アッサム州の南にある 2000 メートル級のメガラヤ高原域に位置しており、インド北東部の山岳域諸州に生活する人々の社会的・経済的条件や福祉の向上を重要な目的としているところに特徴があります。全国からの学生に加えて、北東部からの入学枠を設けることにより、当該地域の修学機会を保障しています。インド北東部には、インドの中央部とは異なる文化や言語、宗教的背景を持つ人々が居住しており、それらの多様な文化を、学生や周辺地域との交流を通じて体感できるところにも大きな魅力があります。

地理学科としてリモートセンシングデータや GIS を活用するための施設も充実しており、地理情報学に関する大学院生向けコースも開講しているのが特徴です。

2007 年度から研究交流を開始し、早くから活発な研究者レベルの交流をしてきました。2015 年 2 月に香川大学水プロジェクトが主催をした国際シンポジウム「アジア・太平洋地域の水危機に立ち向かう」への参加等を経て、協定の締結に至りました。

2016 年 1 月には、科学技術振興機構の「さくらサイエンスプラン」の支援を受けて、協定締結後初の学生受け入れ (PhD コース学生一名) を行いました。更に相互の学生交流を推進するように、平成 28 年度からの活動の具体化を進めているところです。



Happy Teachers' Day のひとこま

(地球ディベロプメントサイエンス国際コンソーシアム (ICEDS = アイセッツ))

(バングラデシュ (グラムバングラ) ほか：2010年2月16日)

担当教員：村山 聡/寺尾 徹

大学の紹介及び交流の特徴

ICEDS (通称：アイセッツ) とは、地球環境と社会とのコミュニケーションを活発化させるために設立した「地球ディベロプメントサイエンス国際コンソーシアム」= International Consortium for Earth and Development Sciences という学術交流協定です。以下は、この交流協定発足時に書き記したものです。

「香川大学インターナショナルオフィスでは、新たな学術交流協定を締結することになりました。Gram Bangla (グラム・バングラ) という民間の教育



研究組織との間で、新たな諸団体の加入が可能なコンソーシアム (ICEDS) 設立に関する交流協定を結びました。極めてユニークなものとして自負しております。1992年から始められたバングラデシュのカンチャンプールという村での活動は、井戸掘り、女性の健康、職業育成、農業開発、幼児教育など様々な分野に広がっています。世界各地で現在何が起きているのか、どのような対策や対応が必要なのか、日本も含めた世界のいくつかの拠点を同時につなぎ、情報を共有することが課題です。学生交流や民間交流なども推進していきたいと考えています。」

2015年2月には、アイセッツが事務局となり、香川大学で進めている「水プロジェクト」の一環として、バングラデシュ、インド、ネパール、モンゴルなどから研究者を招待し、国際研究集会を開催しました。その際、今後、さらにネットワークを拡大していくために、交流協定を更新し、グラム・バングラ以外の研究機関等も容易に参画できるようにしました。今後、国内も含めて、世界中の多くの研究機関や NGO/NPO 団体が加入して、交流を深めていくことが期待されます。

2015年度の新たな企画：

アイセッツは、研究機関や大学との交流以外に市民等が参画できる交流を進めるという極めてユニークな交流協定です。アイセッツ自体の事務局も設け、新たな試みを展開する予定です。その第一弾として、年末から年始にかけて、「グラム・バングラに行こう」ツアーを企画する予定です。10歳代から70歳以上の高齢の方まで、20名近い全年齢階層の男女が、大挙、バングラデシュ研修に参加し、現地の同世代の人々を交流しようというものです。



そのほか、2015年10月には、アイセッツ主催で、第3回東アジア環境史学会 (<http://www.aeah.org/eah2015.htm>) を高松サンプォートホールならびに香川大学で開催します。国際学会ですが、同時に、市民や学生向けの公開シンポジウムなども企画しています。

チェンマイ大学

(タイ王国：Chiang Mai University：締結年月日：1990年4月24日：実施細則：2011年2月1日
http://www.cmu.ac.th/index_eng.php)

担当教員：ポール・バテン

大学の紹介及び交流の特徴

1964年タイ北部に最初に設立された高等教育機関として、教育と研究の発展に多大の貢献をしてきました。タイの大学ランキングで教育と研究の両面で最高レベルの評価を受けています。タイ北部のチェンマイ市（首都バンコクから北に飛行機で1時間）の3ヶ所にあるキャンパスは、合計644 haと広大です。20学部を有し、学部生24,865人、大学院生7,093人（修士）と804人（博士）が在籍しています。キャンパス内に学生の約2割を収容する寮のビル群があり、留学生用の上級な寮も整っています。ラオス、カンボジア、ベトナムなど周辺国から積極的に学生を受入れています。チェンマイは京都のように美しい古都であり、文教と観光の都市です。気候は涼しく、日本人には暮らしやすい所です。



チェンマイ大学正門



SS・SVプログラム活動の様子

CMU 教員からの声

チェンマイ大学人文学部に毎年3月に約10日間の短期留学・異文化体験プログラムを実施しています。大学の正式な「多文化交流実践研修」という授業です。10人から15人ぐらいのグループで、タイの文化、歴史、料理、教育制度、タイ語などについてチェンマイ大学の先生による授業もあります。現地に着いてから、札幌学院大学のグループと合流して、2大学でいろいろな活動を実施します。チェンマイでは日本語を勉強している高校生の家族とのホームステイもあり、プレーヤパイなど、近郊の町の見学や、小中学校で交流活動をするビリッジステイもあります。香川大学生の面倒を見てくれるチェンマイ大学の学生（バディ）はとても日本・日本文化・日本語に興味・好奇心を持っています。7月頃から一ヶ月ほどCMUの学生も香川大学に留学しますので、とてもいい相互交流になり、言葉・異文化理解などの勉強にも役立つと思います。



大学表敬訪問

学部・大学院生の海外への派遣や、交換留学については定期的に参加者募集・留学説明会を行っています。合同説明会は11月に開催され、すべてのプログラム参加者募集・留学説明会の日程等は学部掲示板に掲載されます。協定校に関する質問などは、それぞれの担当教員にお問い合わせください。その他、教育学部国際交流に関する問い合わせは教育学部学務係まで（087-832-1411）、また全学規模の国際交流・留学に関する問い合わせはインターナショナルオフィス・国際グループ（087-832-1149）で随時受け付けています。